

保坂展人講演会

世田谷区は東京23区でも一番の人口89万を擁する特別区。住みたい街のランキングでは常に上位に選ばれ、子育て世代をはじめ今も人口が増え続ける自治体です。

そんな世田谷区の昨年4月の区長選挙で、保坂展人さんは、『せたがやYES!』をスローガンに、67%の高い得票率で再選を果たされました。保育園の増設、世田谷型「地域包括」の推進、公契約条例の導入、自然エネルギーの推進、給付型奨学金の創設など、自治体の可能性を広げる施策を具体化し、注目を集めています。保坂区長のお話から、私たちが暮らす地域のこれからを考える上で、多くのヒントを得ることができるのではないかと考えます。

私たちの街のこれからと自治体の可能性を皆さんと一緒に考えてみませんか？



保坂展人さんのプロフィール

1955年仙台市生まれ。16年にわたる内申書裁判を闘い、教育ジャーナリストに。1996年から衆院議員を3期11年間務める。2011年4月世田谷区長に初当選。

と き **10月4日(火) 18時30分～**

ところ **ウェスタ川越 活動室1・2**

川越市新宿町1-17-17 (川越駅西口徒歩5分)

入 場 **無料**

お問い合わせは090-3542-9870 (高橋) まで

※内容は公務の事情により変更になる場合がありますので、予めご了承ください

共催

公益財団法人埼玉県地方自治研究センター

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂4-3-5 TEL048-836-1113

埼玉西部地区地方自治研究会

〒350-1126 川越市旭町1-2-48-102 TEL049-243-9564

保坂展人さんのプロフィール

1955年11月26日、宮城県仙台市生まれ。父親の転勤にともない上京、麹町中学校卒業時の「内申書」をめぐる、16年にわたる内申書裁判の原告となる。新宿高校定時制を自主退学後、若者たちが集まるフリースペース「青生舎」を運営するかたわら、教育問題を中心に取材・発言するジャーナリストになる。

1980年代半ばから、ミスターボランティアこと故牟田悌三さん(2009年没)とともに、世田谷区と共同で「いじめ」問題に取り組む。1996年11月、衆議院議員初当選。2009年までの3期11年で546回の国会質問に立ち、「国会の質問王」との異名をとる。その後、総務省顧問を経て、2011年4月の世田谷区長選挙で初当選。2015年4月再選。世田谷区長としての取り組みをまとめた、

『脱原発区長はなぜ得票率67%で再選されたのか』(2016年・ロッキング・オン)
『88万人のコミュニティーデザイン』(2014年・ほんの木)、
『闘う区長』(2012年・集英社新書)

ほか、著書多数。



参加申し込み票

氏名	連絡先
住所	

FAX 049-243-9564